

| | | | | |
|----------|--------|-----|---------|-------|
| 授業科目名・形態 | 人間の理解Ⅰ | 講義 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 担当者氏名 | 脇山園恵 | 開講期 | 1年前期 | 単位数 2 |

【授業の主題】

人間を理解する上で「人間の尊厳」は最も重要なことであり、自立・自律した生活を支えるためには尊厳の保持が基本的に必要となる。人間の尊厳という概念が自立や自律した生活を支える為になぜ必要か、尊厳と自立・自律をめぐる歴史としきみ、介護場面での倫理的課題などについて講義を通して学び、さらに、演習を通して体得していく。

【到達目標】

- 1) 人間の尊厳と自立の意義について、自己決定ならびに自立と自律との違いから理解できる。
- 2) 尊厳と自立をめぐる歴史としきみについて、朝日訴訟と介護保険法・障害者総合支援法から理解できる。
- 3) 介護における尊厳保持と自立支援の理論と実践について、自立生活運動から理解できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 人間を理解するということ
- 第3回 人間の尊厳の意義
- 第4回 自立の意義
- 第5回 自立と自律
- 第6回 人間の尊厳と自立
- 第7回 人権、尊厳と自立をめぐる歴史的経緯
- 第8回 人権、尊厳と自立に関する諸規定
- 第9回 人々が求める生活の幸せ
- 第10回 生活を通して人間の尊厳と自立を考える
- 第11回 生きる勇気の回復、よりよき人生を送るために
- 第12回 介護における権利擁護と人権尊重
- 第13回 介護における自立支援（身体的・精神的・社会的）
- 第14回 介護における尊厳保持の実践
- 第15回 介護における自立支援の実践

【授業実施方法】

講義と演習で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、日常生活支援技術演習Ⅰなど

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座1 人間の理解 第3版』中央法規出版。

【参考文献】

- ・糸賀一雄『福祉の思想』日本放送出版協会。
- ・大坂社保協・よりよい介護をめざすケアマネジャーの会編『ここまでできる！ホームヘルプサービス“利用者の望む暮らし”を実現するために』日本機関紙出版センター。
- ・生存権裁判を支援する全国連絡会編『朝日訴訟から生存権裁判へ—いま、改めて「朝日訴訟=人間裁判」から学ぶ』あけび書房。 など

【成績評価方法】

平常点10%、小テスト30%、期末試験（筆記）60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

本講は介護に従事する人はもちろんのこと、対人業務に従事するすべての人が人間を理解する上で重要な科目となります。人間の尊厳とは何か、自立・自律した生活とは何かを考えながら予習・復習し、介護実践のために必要となる人間の理解を深めてください。